

日本文化研究(近代社会と文化)Ⅱ

科目ナンバリング JLT-204
選択 2単位

中沢 紀子

1. 授業の概要(ねらい)

前期に引き続き、言語と社会との関係について考えていく。今期は主に標準語政策と方言の問題について取り上げる予定である。

2. 授業の到達目標

自分の言葉で授業で学んだ項目について説明ができる。

3. 成績評価の方法および基準

出席(30%)、ディスカッション等の授業への積極度(10%)、テスト(60%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

授業時に指示する。

5. 準備学修の内容

授業ではディスカッションやレポートを書く機会がある。準備学修では、そのために必要な言語事例の材料をそろえておくことが求められる。この材料については、授業時に指示する。

6. その他履修上の注意事項

方言を扱うことがあるが、この授業の狙いは方言の語彙を知ることではなく、方言を取り巻く背景を知ることにある。よって、方言の語彙、アクセントなどを知ることが目的にした授業ではないことをあらかじめ述べておく。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 言語と社会
- 【第3回】 ディスカッション
- 【第4回】 標準語①
- 【第5回】 標準語②
- 【第6回】 標準語③
- 【第7回】 方言①
- 【第8回】 方言②
- 【第9回】 方言③
- 【第10回】 実習
- 【第11回】 実習
- 【第12回】 実習
- 【第13回】 発表
- 【第14回】 まとめとテスト
- 【第15回】 まとめ